



2022年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月15日

上場会社名 株式会社ラストワンマイル 上場取引所 東
 コード番号 9252 URL http://lomgrp.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)清水 望
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務経理部長 (氏名)市川 康平 (TEL) 050-5491-1029
 四半期報告書提出予定日 2022年7月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第2四半期の連結業績(2021年12月1日~2022年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|---|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年8月期第2四半期 | 4,451 | - | △2 | - | △0 | - | 16 | - |
| 2021年11月期第2四半期 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 包括利益 2022年8月期第2四半期 16百万円 (-%) 2021年11月期第2四半期 -百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| 2022年8月期第2四半期 | 円 銭 6.03 | 円 銭 5.81 |
| 2022年11月期第2四半期 | - | - |

(注) 2021年11月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2021年11月期第2四半期の数値及び2022年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------------|--------------|-----------|
| 2022年8月期第2四半期 | 百万円 2,804 | 百万円 1,189 | % 42.4 |
| 2021年11月期 | 2,786 | 1,237 | 44.4 |

(参考) 自己資本 2022年8月期第2四半期 1,189百万円 2021年11月期 1,237百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|----------|-------------|----------|-------------|-------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 年 月 期 | 円 銭 - | 円 銭 0.00 | 円 銭 - | 円 銭 0.00 | 円 銭 0.00 |
| 年 月 期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 年 月 期(予想) | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年12月1日~2022年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,220 | - | 15 | - | 13 | - | 8 | - | 3.14 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年2月28日開催の第10回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、当期より決算期(事業年度の末日)を11月30日から8月31日に変更いたしました。これに伴い、当連結会計年度は2021年12月1日から2022年8月31日までの9ヶ月間となるため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規一社(社名)一、除外一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------------|------------|-------------|------------|
| 2022年8月期2Q | 2,739,418株 | 2021年11月期 | 2,732,418株 |
| ② 期末自己株式数 | 60,000株 | 2021年11月期 | — |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2,704,564株 | 2021年11月期2Q | — |

(注)2021年11月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料1ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 1 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 1 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 1 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 1 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 2 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 2 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年12月1日～2022年5月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による停滞状況から、各国でワクチン接種が進展したことにより、先進国を中心に経済活動の正常化が進み、企業活動も回復傾向が続きました。しかしながら、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の再拡大、世界的な半導体等の入手難に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響による資源・エネルギー価格の高騰など、世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが掲げるラストワンマイル事業(注)におきましては、情報化社会の進展に伴い個人消費者の生活インフラに関する需要は高く、また法人顧客においても電気、インターネット等のインフラを始めとするサービスの需要が高まっているものの、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴う経済の混乱による影響を受け先行き不透明な状況となりました。

このような環境下で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,451,639千円、営業損失は、2,498千円、経常損失は、482千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、16,302千円となりました。

(注)ラストワンマイル事業とは、顧客にとって「最高のサービス」を「必要なタイミング」で「最適な方法」によって届けることを追求する事業です。現在は消費活動が活発になる新生活マーケットをメインターゲットとし、顧客と直接コミュニケーションがとれるインサイドセールス(電話、Web会議、メール等を活用した内勤型の営業活動)を主軸に事業を展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,804,468千円となり、前連結会計年度比18,419千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が159,530千円減少、売掛金が99,762千円増加、繰延税金資産が52,587千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,614,884千円となり、前連結会計年度比65,840千円の増加となりました。その主な要因は、未払金が46,689千円、その他流動負債が157,791千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,189,584千円となり、前連結会計年度比47,420千円の減少となりました。その要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加16,302千円及び自己株式の増加66,443千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年4月14日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響については、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。現時点で当社グループの業績に与える影響は軽微であると仮定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,271,408 | 1,111,877 |
| 売掛金 | 1,093,454 | 1,193,217 |
| 商品 | 10,202 | 10,235 |
| 貯蔵品 | 7,964 | 5,530 |
| その他 | 76,757 | 133,212 |
| 貸倒引当金 | △5,943 | △6,657 |
| 流動資産合計 | 2,453,843 | 2,447,414 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 | 88,575 | 83,817 |
| その他 | 39,072 | 38,745 |
| 減価償却累計額 | △52,559 | △54,173 |
| 有形固定資産合計 | 75,089 | 68,390 |
| 無形固定資産 | | |
| 顧客関連資産 | 118,999 | 109,353 |
| のれん | 34,083 | 23,823 |
| その他 | 8,769 | 7,244 |
| 無形固定資産合計 | 161,852 | 140,420 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 16,098 | 68,686 |
| 敷金及び保証金 | 83,203 | 83,480 |
| その他 | 2,834 | 3,847 |
| 貸倒引当金 | △6,874 | △7,771 |
| 投資その他の資産合計 | 95,262 | 148,243 |
| 固定資産合計 | 332,204 | 357,053 |
| 資産合計 | 2,786,048 | 2,804,468 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年11月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年5月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 125,000 | 145,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 136,566 | 121,742 |
| 未払金 | 697,181 | 743,871 |
| 未払費用 | 118,962 | 101,474 |
| 未払法人税等 | 85,179 | 42,617 |
| 未払消費税等 | 59,304 | 16,588 |
| 資産除去債務 | 3,162 | — |
| 販売促進引当金 | 7,993 | — |
| 解約調整引当金 | 70,245 | — |
| その他 | 36,285 | 194,077 |
| 流動負債合計 | 1,339,880 | 1,365,371 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 177,077 | 217,048 |
| 資産除去債務 | 19,403 | 24,445 |
| 繰延税金負債 | 2,648 | — |
| その他 | 10,034 | 8,019 |
| 固定負債合計 | 209,162 | 249,512 |
| 負債合計 | 1,549,043 | 1,614,884 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 338,684 | 340,044 |
| 資本剰余金 | 313,467 | 314,827 |
| 利益剰余金 | 584,852 | 601,155 |
| 自己株式 | — | △66,443 |
| 株主資本合計 | 1,237,004 | 1,189,584 |
| 純資産合計 | 1,237,004 | 1,189,584 |
| 負債純資産合計 | 2,786,048 | 2,804,468 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日) |
|------------------|--|
| 売上高 | 4,451,639 |
| 売上原価 | 1,743,889 |
| 売上総利益 | 2,707,750 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,710,248 |
| 営業損失(△) | △2,498 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 5 |
| 助成金収入 | 1,592 |
| 遅延損害金 | 1,090 |
| 利子補給金 | 1,129 |
| その他 | 344 |
| 営業外収益合計 | 4,163 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 2,147 |
| 営業外費用合計 | 2,147 |
| 経常損失(△) | △482 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除売却損 | 2,089 |
| 特別損失合計 | 2,089 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △2,572 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 36,361 |
| 法人税等調整額 | △55,236 |
| 法人税等合計 | △18,874 |
| 四半期純利益 | 16,302 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 16,302 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年5月31日) |
|-----------------|--|
| 四半期純利益 | 16,302 |
| 四半期包括利益 | 16,302 |
| (内訳) | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 16,302 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| (単位：千円) | |
|-------------------------|-----------------|
| 当第2四半期連結累計期間 | |
| (自 2021年12月1日 | |
| 至 2022年5月31日) | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △2,572 |
| 減価償却費 | 21,756 |
| のれん償却額 | 10,260 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 1,610 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 |
| 支払利息 | 2,147 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △99,762 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 2,401 |
| 固定資産除却損 | 2,089 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △32,614 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 46,689 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △17,474 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △42,715 |
| 返金負債の増減額 (△は減少) | 80,577 |
| その他 | △27,804 |
| 小計 | △55,418 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 |
| 利息の支払額 | △2,155 |
| 法人税等の支払額 | △79,172 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △136,739 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △995 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △989 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △3,950 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 3,673 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,261 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 20,000 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △74,853 |
| 株式の発行による収入 | 2,720 |
| 自己株式の取得による支出 | △66,443 |
| その他 | △1,953 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △20,529 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △159,530 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,241,406 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,081,875 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年12月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式60,000株の取得を行いました。この自己株式の取得の結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が66,443千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が66,443千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」といいます。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、販売促進引当金繰入額及び解約調整引当金繰入額として販売費及び一般管理費に計上していた、顧客に支払われる対価の一部を、売上高から控除して表示する方法に変更しております。

顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人に該当する取引について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当該対価の総額から他の当事者に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が641,561千円、売上総利益が142,455千円減少しておりますが、売上原価が499,105千円、販売費及び一般管理費が142,455千円減少しているため、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「販売促進引当金」及び「解約調整引当金」は、返金負債として「流動負債」の「その他」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

なお、前第2四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表を作成していないため、当該期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」といいます。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ラストワンマイル事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は2022年6月24日開催の取締役会において、㈱ブロードバンドコネクションの発行済株式の全部を取得し子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2022年7月1日に全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 ㈱ブロードバンドコネクション
事業の内容 コールセンター事業、IoT事業、Wi-Fiインフラ事業、ライフライン事業

(2) 企業結合を行った主な理由

㈱ブロードバンドコネクションは北海道で約125席のインサイドセールスセンターを運営しております。代表取締役である多田敬祐氏が独自のマーケティングノウハウを有していることから、当社グループに加わっていただくことで高いシナジー効果を発揮することができ、当社グループのラストワンマイル事業の拡大にもつながり、両社の企業価値向上を実現することが可能であると考え、本株式取得を決定いたしました。

(3) 企業結合日

2022年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権の比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として㈱ブロードバンドコネクションの株式を取得したことによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 300百万円
取得原価 300百万円

(注) 株式譲渡契約に定める価格調整等により変動する可能性があります。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等(概算額) 2百万円

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2022年7月15日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社まるっとチェンジ及び株式会社ITサポートを2022年9月1日付で吸収合併することを決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

(吸収合併存続会社)

当事業内容 サービス業

(吸収合併消滅会社)

当事企業の名称 株式会社まるっとチェンジ

事業内容 サービス業

当事企業の名称 株式会社ITサポート

事業内容 サービス業

(2)企業結合日

2022年9月1日

(3)企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、株式会社まるっとチェンジ及び株式会社ITサポート(当社の連結子会社)、を吸収合併消滅会社とする吸収合併

(4)結合後企業の名称

株式会社ラストワンマイル

(5)その他取引の概要に関する事項

当社グループにおける組織効率の向上を目的として本合併を行いました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。